

「ひょうご安全の日のつどい」の実施結果について(平成 24 年度)

「ひょうご安全の日」である平成25年1月17日(木)に、阪神・淡路大震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを推進するため、「伝える」「備える」をテーマに、「ひょうご安全の日のつどい」を実施した。

1 実施概要

「ひょうご安全の日のつどい」は、1月17日に、風化しがちな防災意識を新たにするとともに、震災の経験と教訓を発信し、1. 17を忘れずに語り継ぐため、「1. 17のつどい」「1.17 ひょうごメモリアルウォーク2013」「交流ひろば・ステージ」「防災訓練」「施設見学」、また特別企画として「東日本大震災“絆”の発信」をあわせて実施した。

2 事業内容

ア 「1.17 のつどい」

阪神・淡路大震災の犠牲となられた方々への哀悼の誠を捧げるとともに、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意について、国内外や次世代に強く発信する「1. 17のつどい」を実施した。

(1) 日 時 平成 25 年1月 17 日(木) 11:50～12:30(献花 12:25～17:00)

(2) 場 所 HAT神戸(人と防災未来センター 慰霊のモニュメント前)

(3) 参加人数 2, 000人

(4) 献花人数 2, 000人

(5) 内 容

- 献奏曲(「マニフィカート」より『エスリエンテス』)
- 開会のことば
- 黙祷(「カリヨンの鐘」鳴鐘)
- 主催者代表挨拶
- 県民のことば
- 献唱曲「しあわせ運べるように」
- 1.17 ひょうご安全の日宣言



イ 1.17 ひょうごメモリアルウォーク2013

震災当時に思いを馳せ、東西6つの出発地からHAT神戸までを歩く「1.17 ひょうごメモリアルウォーク」を実施した。ウォーク参加者には、福島県内の福祉作業所で作成した参加証(缶バッジ)を配付し、東北の復興支援を考えるきっかけとした。



(1) 日 時 平成 25 年1月 17 日(木)

(2) 場 所 西宮市六湛寺町～

神戸市須磨区若宮町

(3) 参加人数 3, 200人



(4) コース別の参加者数

コ ー ス	スタート時間	参加者数 (人)
一般ウォーク		
東15km コース(西宮市役所発)	8:00	600
東10km コース(芦屋市川西運動場発)	8:30	600
東2km コース(王子公園発)	11:00	400
西15km コース(須磨海浜公園発)	8:00	300
西10km コース(県立文化体育館発)	8:30	300
西5km コース(神戸市立中央体育館発)	10:00	700
帰宅訓練ウォーク(13団体)	—	300
計		3,200

ウ 交流ひろば・ステージ

県民の防災意識の向上や交流、次世代への教訓の伝承を図る場として、交流ひろば・ステージを実施した。

(1) 日 時 平成 25年1月 17 日(木) 10:30～15:30

(2) 場 所 なぎさ公園(神戸市中央区脇浜海岸通)

(3) 内 容 [会場展示]

- ・関係機関、団体による展示、体験
- ・津波対策スクエア(津波対策関連用品)ほか、防災関係企業による防災用品の展示・体験
- ・東日本被災地での支援活動報告
- ・東北物品販売、観光PR
- ・ボランティアグループ等による炊き出し
- ・高石ともや、川嶋あいミニライブなど



エ 防災訓練

県民参加による防災関係機関と連携した実戦的な「防災訓練」を実施した。

(1) 日 時 平成 25年1月 17 日(木) 13:00～15:00

(2) 場 所 なぎさ公園及び南側海上

(3) 参加人数 600人

(4) 内 容

海上での要救助者救助訓練、要救助者搬送訓練、物資搬送訓練、ロープワーク訓練、大声コンテスト、障害者・高齢者の体験装具を装着した避難体験・誘導体験



オ 施設見学

人と防災未来センター(見学者3,000人)